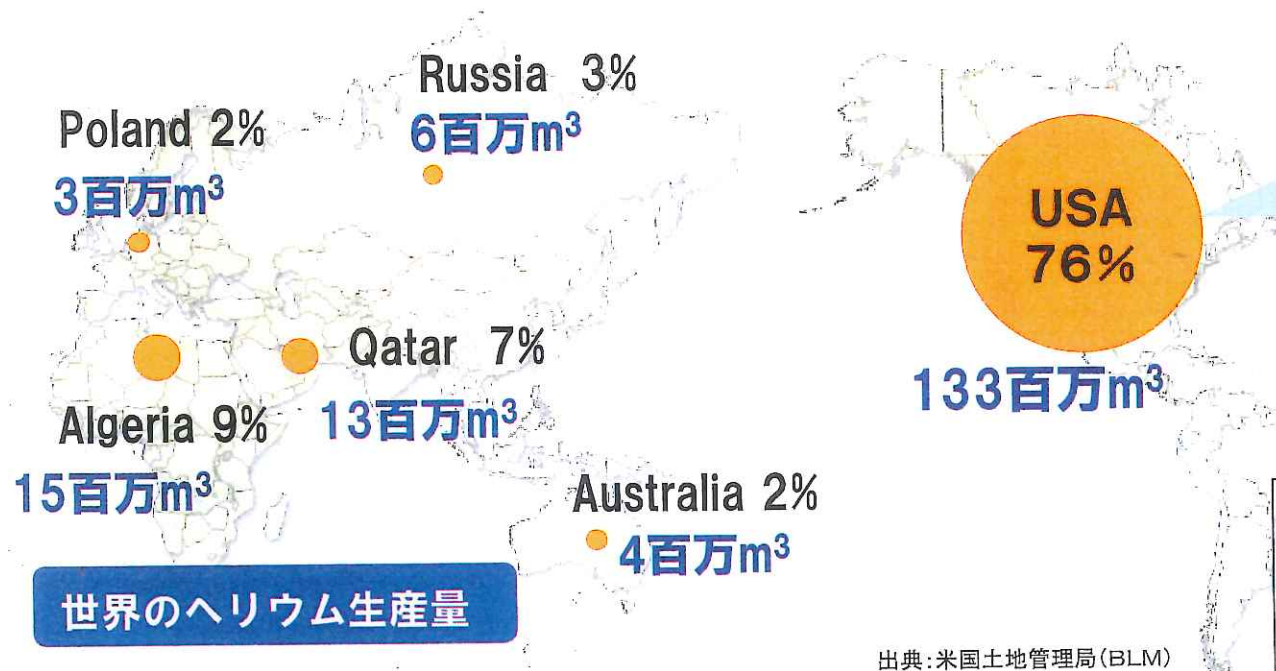
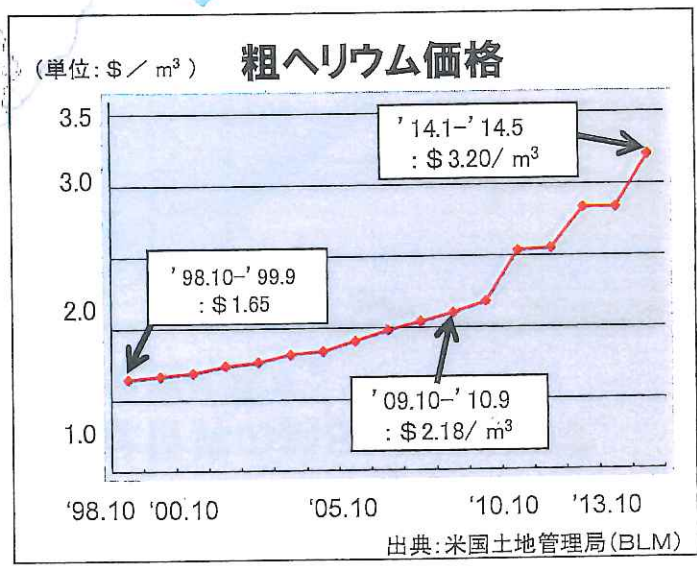


ヘリウムの供給と価格

He ヘリウムは工業的に生産出来ず、**世界6カ国**の天然ガス田からしか産出されない「希少資源」です。
世界的に需給の逼迫が続いています。



生産量の大部分を占めるアメリカでは、定修の長期化やプラントトラブル等から生産が不安定となり、供給がタイト化

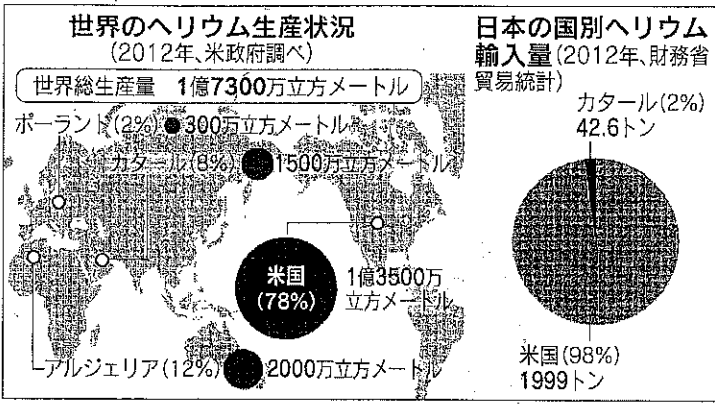


安定した調達ソースの確保が課題

工業ガス ③

よくわかる

磁気共鳴画像装置(MRI)の冷却に使う工業ガス、ヘリウムの不足が目立っている。中国などの新興国での需要の伸びが著しいのが理由で、工業ガス各社は調達先を広



ヘリウム不足、長期化懸念

げようと懸念になってい 2012年の世界生産量
 る。天然ガス田の副産物 約1億7千万立方メートル
 だが、近年伸びてきたシ ち、米国が約8割を占め
 エールガスには含まれて た。残りはアルジェリア、
 いない。不足の長期化が カタールなど。米国が生
 懸念されている。 産量や価格決定に強い影
 ヘリウムは常温で無色 響力を持つ。日本は全量
 無臭の気体で、沸点がマ を輸入。財務省によると、
 イナス269度と極めて 12年は約98%が米国から
 低い。全ての元素の中で の輸入だった。
 水素に次いで2番目に軽 中国のMRIや、イン
 い性質もある。音を伝え ドでの光ファイバー製造
 やすいことから、人が吸 向けの需要が伸びてお
 い込むと声が変わること り、ここ数年需給が逼迫。
 などでも知られる。 日本はMRIメーカーも
 国内需要は気体状態で 出荷時のヘリウム充填量
 の利用が約900万立方 を部分的に減らすなどの
 分で、光ファイバー製造 対応に追われている。大
 装置を満たすガス、半導 陽日酸は米国とロシア、
 体の冷却用ガス向けが二 岩谷産業はカタールから
 大用途。液体状態では約 の調達計画を進め、需要
 400万立方メートルで、MR に応えようとしている。
 I向けが約4分の3を占 ただ米国では従来型の
 めている。風船に入れる 天然ガス田に代わり、ヘ
 用途もある。 リウムを含まないシェー
 化学的に合成できない ルガスの採掘が進んでい
 ため、天然ガス田から出 る。代替が進めば、最大
 たガスを濃縮して販売す の供給国である米国での
 る。産出国の偏りが特徴 生産量が先細りする恐れ
 で、米国政府によると、 も出ている。